

新部長紹介

小児科



部長

小西 恵里

平成20年から小児科部長を務められた瀬島部長の副院長ご就任を受けて、10月から小児科部長を務めさせていただくことになりました。平成22年から当院に勤務しており、今年で7年目になりますが、改めてご挨拶申し上げます。

小児医療はこの20年で大きく変化してきました。少子化や予防医学の進歩、慢性疾患のコントロールの改善などにより、感染症やアレルギーのお子さんの入院は減少し、外来患者数

も減っています。一方でNICU出身のお子さんや発達障害、心身症は増え続けており、小児科のあり方の転換を迫られているように感じます。これから的小児科医は、コミュニティの一員として地域に参加し、診療もご家族はもちろん、行政や教育機関ともこれまで以上に連携をとりながら子ども達に関わっていくことが必要になると考えます。

当科の平成27年の入院患者数は小児病棟790名、NICU・GCU 182名でここ数年は大きな増減なく経過しております。基礎疾患の有無にかかわらず、子ども達が家族と過ごし、成長されることが私達の喜びです。当科はそのお手伝いができるよう、松江圏域の小児医療の支えとして力を尽くしたいと思います。先生方には今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

新任医師紹介



●平成28年9月26日付

皮膚科

伊藤 亜矢子 [いとう あやこ]

地域の皆様に満足いただける、より良い医療を目指します。よろしくお願ひいたします。



●平成28年10月1日付

整形外科

青木 阳 [あおき あきら]

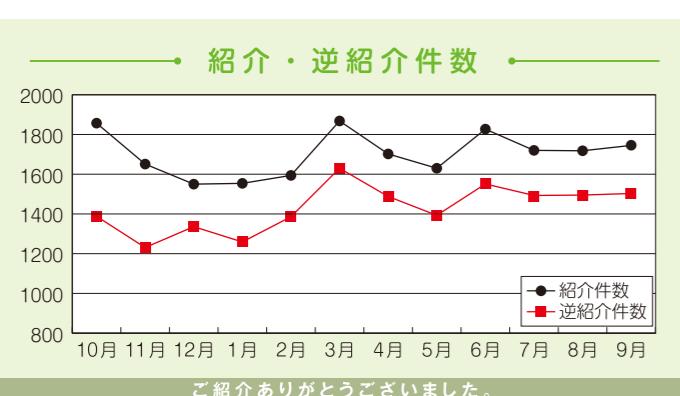
島根大学医学部附属病院から参りました。出雲市大社町出身です。丁重な診療と皆様が気兼ねなく相談できる環境作りを心がけております。宜しくお願ひ致します。

退職

脳神経外科	岡村 朗健 (平成28年7月31日付)
第二外科副部長	西 健 (平成28年9月30日付)
眼科	佐野 一矢 (平成28年9月30日付)
整形外科	若槻 拓也 (平成28年9月30日付)

行事案内

＼是非、ご参加下さい。／

第3回 雲南圏域地域医療従事者
スキルアップセミナー平成28年12月1日(木)
18:30~20:10 雲南市立病院第10回 地域医療従事者
スキルアップセミナー平成29年1月14日(土)
12:00~17:10(予定) 松江赤十字病院

登録医情報

今年度、新たに26名の開業医の先生方に、ご登録頂きました。

現在、175名(149医療機関)となりました。
ありがとうございました。



松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地
TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261



松江赤十字病院 地域医療連携課

日本赤十字社

れんけいだより



+ 松江赤十字病院地域連携交流会

地域連携交流会に参加して

消化器外科部長 佐藤 仁俊

真夏の暑さの残る8月18日夕刻、第13回松江赤十字病院地域連携交流会がホテル一畠にて開催されました。本会には松江地区の開業医の先生58名と、当院から医師、看護師、相談員、事務など85名が参加しました。第一部の研修会では乳腺外科・化学療法科部長曳野医師と化学療法認定山本看護師から「松江赤十字病院の診断・治療・化学療法センター」というテーマでの講演と、検査部長内田医師より「C型肝炎治療の進歩と当院での成績」という講演がありました。第二部は秦院長挨拶、磯和副院长乾杯の後、懇親会となりました。スタート時はややかたい雰囲気でしたが、アルコールも呼び水となり、出席した皆様は徐々に饒舌となって各テーブルで会話が弾んでいました。たくさんの開業医の先生にご出席いただきましたので、全員とお話しすることは叶いませんでしたが、消化器癌患者の連携へのお礼や患者の診療上の相談などをお話ししていると、たちまち時間が過ぎてしまいました。日頃懇意にしていただいている先生だけでなく、この会でしかお会いできない先生や、当日初めてお話しできた先生と、日常診療の困難な点や当院への提言などを聞くことができ、大変貴重な機会となりました。この松江地域における当院の立ち位置を考えると、各種疾患において開業医の諸先生方と密に連携することは益々重要となっており、その中でも顔の見える関係を構築することで、よりスムーズな患者さんの橋渡しが可能になると思います。今後もこのような交流会を手始めとして開業医の先生方と密接な連携を目指していきたいと考えております。

外来部長 周藤 賀代子

8月18日(木) ホテル一畠にて開催された松江赤十字病院地域連携交流会に参加しました。この会は当院と地域の開業医の先生方との交流を深めることを目的に年一回開催されており、今回が13回目になるということです。

第一部では「松江赤十字病院の診断・治療・化学療法センター」をテーマに担当医師、看護師による三題の講演(内田靖検査部長「C型肝炎治療の進歩と当院での成績」、曳野肇乳腺外科部長・化学療法室長「外来化学療法の体制について」、山本香織がん化学療法看護認定看護師「外来化学療法室での看護師の役割」)がありました。この8月に旧7階東病棟に移転オープンしたばかりの外来化学療法センターの紹介も兼ねており、いずれもわかりやすく、改めて当院での治療・看護の実際を地域の先生方に知りたいと感じました。

第二部の懇親会は漆谷地域医療連携室長の司会のもと秦院長および開業医を代表して島根県医師会会長の小村明弘先生からご挨拶をいただき、磯和副院长の乾杯での開演となりました。ステージでは新任部長の紹介が行われました。最初は同じテーブル内で話が弾んでいましたが、宴が進むにつれあちらこちらでどんどん交流が深まっていきました。今まで診療情報提供書でお名前を拝見していた先生と実際にお会いしてお話を伺うことができたこと、以前、病棟で一緒に仕事をさせていただいた先生に開業されてから久しぶりにお会いできたことなど、本当に楽しく貴重な機会を持つことができました。

松江赤十字病院が地域の先生方からより一層期待されるよう、職員として頑張っていこうと思いを強くし会場を後にしました。



第8回 松江赤十字病院 地域連携 サイエンス 漢方 処方研修会に参加して

第一産婦人科部長 真鍋 敦

9月9日に第8回サイエンス漢方処方研修会が開催されました。産婦人科診療においては更年期症候群をはじめとして漢方薬を比較的多く処方しています。勉強会や講演会に参加する機会も多いのですが、第1回サイエンス漢方処方研修会では、これまでの「証」「気血水」に基づく私としては難解な理論とは異なった「サイエンス漢方処方」を拝聴して大きな衝撃を受けました。その後、井齋偉矢先生の著書「西洋医が教える、本当は速効で治る漢方」を拝読し、視野が開けた思いがしました。本年総合診療科に岩崎伸治先生を迎えるにあたって当院でも多数の漢方薬が採用となり、処方できるようになりました。

今回の研修会は、まず岩崎先生の「当院の漢方処方の現状」の講演があり、当院での漢方処方普及への取り組みが報告されました。引き続き井齋先生の講演が始まりました。開会当初は参加人数も少なかったのですが、このころにはずいぶん参加者も増えていました。特に院外の先生方の出席が多いのが印象的でした。

今回の研修会のテーマは「便秘の漢方治療」でした。日常診療で便秘に対して薬剤処方するのは日常茶飯事なのですが、私自身漢方薬を処方する事はありません。便秘の漢方治療アルゴリズムは大変参考になりました。

それぞの漢方薬について、階層構造（病態、応答、キモ、病名）を用いた解説により、いつもながら大変理解しやすく、これなら私も明日から処方できると感じられた内容でした。産婦人科診療においても妊娠中の方、月経困難症を伴った方、更年期の方、老年期の方、術後の方など、それぞれ適した漢方処方ができそうです。

こんな漢方処方がいいと聞いたものの、処方してみようかどうしようか躊躇していましたが、やはりこのような研修会に参加して、講師の先生の声を聞くと肩を押された気分になります。今回の研修会をきっかけに、便秘に対する漢方処方が広まり、多くの患者さんに「快便」「気持のいい通じ」がもたらされることが期待されます。

薬剤部 與倉 奈美

9月9日、第8回サイエンス漢方研修会が開催されました。年2回、北海道の静仁会静内病院病院長 井齋偉矢先生にご講演頂いており、今回で8回目となりました。4年前に初めて井齋先生の講演を聞いて以来、敬遠していた「漢方」のイメージが一変し、わかりやすい漢方のお話を毎回楽しみにしています。

第8回目のテーマは「便秘」であり、12種類の漢方薬を紹介頂きました。下剤漢方薬の主成分である大黄を含む大黄甘草湯から始まり、芒硝を加えた調胃承氣湯、大承氣湯、桃核承氣湯、大黄牡丹皮湯、通導散、防風通聖散。さらに腸を潤すタイプの麻子仁丸と潤腸湯、腹部膨満を伴う軽度の便秘に用いる桂枝加芍薬大黄湯。また、大黄、芒硝を含まない桂枝茯苓丸、加味逍遙散は骨盤内の微小循環の改善効果より便秘が改善されるとのお話でした。井齋先生のスライドにはいつもたくさんのイラストが使われており、その漢方薬がどのような症例に適しているのかが大変わかりやすく表現されています。次回は2017年3月24日に開催予定となっていますので、楽しみにしたいと思います。

また、今回は一般講演として4年間静内病院でサイエンス漢方を研修され、今年4月に当院の総合診療科に赴任された岩崎伸治先生より当院の漢方処方の現状をお話頂きました。岩崎先生はご自身が漢方を処方されるだけでなく、漢方処方を広めるために院内勉強会を開催されており、今後の集談会でミニレクチャーを担当される予定となっています。こちらも楽しみにしております。



第1回安来圏域地域医療従事者 スキルアップセミナー

当院は、地域医療支援病院として平成19年より地域医療従事者の皆様を対象として「スキルアップセミナー」を開催し、毎回多数の方々に参加いただいている。

10月13日(木)に「安来圏域地域医療従事者スキルアップセミナー」を安来第一病院様のご厚意にて開催いたしました。「高齢化社会における循環器診療」をテーマに、循環器内科部長 城田医師より「高齢化社会における循環器系薬剤使用

の注意点」、循環器内科医師 平井医師より「高齢者心不全をどう診ていくか?」、慢性心不全看護認定看護師 田中看護師より「心不全患者の療養支援」、リハビリテーション課係長 福山理学療法士より「心臓リハビリテーション」と題して講演いたしました。安来圏域では今回が初めての開催でしたが、多くの皆様の参加をいただきました。ご協力いただきいたしました。ご協力いただきいた関係者の皆様には紙面を借り御礼申し上げます。



開業医アンケート結果

問1 アンケート回答者

所在地	診療科	年代
橋 北 40	内科系 81	30歳代 6
橋 南 45	外科系 26	70歳以上 13
市 外 37	歯 科 15	40歳代 27
不 明 7	不 明 7	50歳代 34
		60歳代 39



問2 当院を紹介される理由

項目	回答	橋北	橋南	市外
松江赤十字病院の医療内容を信頼している	はい	39	40	34
	いいえ	0	0	0
	どちらとも言えない	1	3	1
	不明	0	2	2
患者・家族の希望	はい	32	38	30
	いいえ	0	0	1
	どちらとも言えない	7	4	4
	不明	1	3	2
患者のお住まいとの距離	はい	32	27	4
	いいえ	0	4	12
	どちらとも言えない	6	9	9
	不明	2	5	12
面識のある医師が存在している	はい	30	34	14
	いいえ	2	2	6
	どちらとも言えない	7	3	7
	不明	1	6	10
信頼できる医師・スタッフがいる	はい	35	36	22
	いいえ	0	0	1
	どちらとも言えない	4	5	5
	不明	1	4	9
紹介するに適した診療科がある	はい	37	42	27
	いいえ	1	1	1
	どちらとも言えない	0	0	3
	不明	2	2	6
他に紹介する医療機関がない	はい	4	7	0
	いいえ	19	22	20
	どちらとも言えない	14	9	4
	不明	3	7	13
医療設備が充実している	はい	34	37	31
	いいえ	0	0	1
	どちらとも言えない	3	4	2
	不明	3	4	3
受診日までの待機日数が短い	はい	19	11	10
	いいえ	5	6	3
	どちらとも言えない	13	22	14
	不明	3	6	10

問3 受診予約の取りにくいくらいの診療科

糖尿病・内分泌内科	0	小児科	1	眼科	3
血液内科	1	消化器外科	0	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1
消化器内科	13	整形外科	1	放射線科	2
膠原病・腎臓内科	2	形成外科	0	麻酔科	0
総合診療科	2	脳神経外科	0	歯科・口腔外科	1
精神神経科	8	呼吸器外科	0	リハビリテーション科	0
神経内科	0	心臓血管外科	1	救命救急科	0
呼吸器内科	1	皮膚科	1	不明	0
乳腺外科	0	泌尿器・副腎外科	0		
循環器内科	2	産婦人科	0		

問4 報告書・返事について

項目	回答	橋北	橋南	市外
「受診のお知らせ」の返信は適切な期間で届いていますか	届いている	28	27	29
	だいたい届いている	9	14	7
	普通	1	1	0
	あまり届いていない	1	0	1
	全く届いていない	0	0	0
	不明	1	3	0
「経過報告書」・「診療情報提供書」の返信は適切な期間で届いていますか	届いている	22	23	27
	だいたい届いている	14	17	8
	普通	1	2	1
	あまり届いていない	2	0	1
	全く届いていない	0	0	0
	不明	1	3	0
返信の記載内容はいかがですか	満足	29	26	28
	やや満足	4	11	6
	普通	4	5	3
	あまり満足でない	0	0	0
	全く満足でない	0	0	0
	不明	3	3	0

問5 当院からの紹介について

●糖尿病・内分泌内科の紹介について、語調にトゲがある。●様々な検査が実施され、また詳細なレポートも添付しているので、安心してフォローすることが出来る。●手術症例で画像の添付がない場合があり、症例検討が難しい。●救急外来後の経過が不明なケースがある。●外来を減らすための逆紹介は、どうぞして下さい。●院内で同士の連携を強化してほしい。●他の医療機関への誘導がないか。●かかりつけ医でない場合、一度事前に連絡をいただきたい。●略語は使わないでほしい。●対応が早く、良好。

問6 共同利用について

項目	回答	橋北	橋南	市外
手術室を利用していますか	利用している	0	0	0
	たまに利用している	0	1	0
	利用していない	39	40	37
	不明	1	4	0
高額医療機器を利用していますか	利用している	1	0	0
	たまに利用している	2	3	1
	利用していない	36	38	36
	不明	1	4	0
病床を利用したいですか	利用したい	0	0	1
	使えるのであれば利用したい	4	5	0
	どちらでもない	11	14	6
	あまり利用たくない	1	3	2
	利用しない	23	18	28
	不明	1	5	0

問7 救急外来の対応について

項目	回答	橋北	橋南	市外
救急外来受診の対応について満足していますか	満足	23	19	16
	やや満足	7	14	6
	普通	5	6	6
	あまり満足			